

## 銀行を取巻く環境変化と ALM

あらた監査法人 村永 淳

モルガン・スタンレーMUFG 証券株式会社 大石 佳敬

サブプライム問題、リーマンショックといった一連の金融危機を契機に、金融機関を取巻く環境は激変の一途を辿っている。特に、金融規制、会計制度のグローバルな見直しの動きは着実に進行している。こうした規制、会計の変化は、今後の金融機関経営に大きなインパクトを与えるものであり、本邦銀行の各種業務にも大きな影響を及ぼすものである。

本講演では、まず、こうした環境変化について簡単な整理を行う。その上で、当該変化が「銀行 ALM(アセット・ライアビリティ・マネジメント)」にどのような影響を及ぼす可能性があるか、あるいは、銀行 ALM は今後どのような方向に進むべきか、といった点について S-PLUS を用いた簡単な分析も踏まえつつ考察を行う。

本講演では、以下のトピックスを取り上げる予定である。

- 銀行を取巻く環境変化について
  - ・ グローバル規制強化の流れ  
(例) バーゼルⅢ、国際会計基準(IFRS)の概要 など
  - ・ 本邦金融機関を取巻く環境の概観  
(例) 貸出の低迷、保有国債残高の増加 など
- 環境変化が銀行 ALM に及ぼす影響について
  - ・ 新たな規制、会計により変化する銀行 ALM 上の各種制約条件  
(例) バーゼルⅢにより導入される新たな基準(自己資本比率規制の見直し、レバレッジ比率、流動性規制など)、IFRS 下での金融商品会計基準 など
  - ・ 新たな制約条件下での銀行 ALM の方向性・可能性(S-PLUS を活用した簡単な試算を含む)

以上